

教科	家庭	科目	家庭基礎	単位数	2 単位	学年	1 年	コース	E・A・F
使用教科書	家庭基礎 気づく力 築く未来(実教出版)			使用副教材等					

目標	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。 家族や地域及び社会における生活の中から課題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。		
評価の観点	知識・技能 ・生活を主体的に営むために必要な人生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境など基礎的な知識を理解している。 ・実生活に活かすために必要な技能を身に付けている。	思考・判断・表現 ・生活の中から課題を見つけることができる。 ・課題解決に向けて計画・実践し、振り返ることができる。	主体的に学習に取り組む態度 ・課題の解決に向けて、具体的に調べることができる。 ・自分や家族、地域社会の生活の充実向上を図ろうとしている。
評価方法	定期考査(実技・筆記) 作品	ワークシート 調理実習の記録 レポート(発表) 授業・実習態度	ワークシート・レポート 発表・グループ(ペア)活動 調べ学習(情報収集・整理) 授業・実習態度(意欲)
担当者からのメッセージ	この科目は、自分の生活の中から課題を見だし、より豊かな生活を送るために必要な知識と技術を身に付け、実生活に活かすことを目標にしています。生きるための基盤となる生活の場は家庭であり、「自立」していくためにはまず、家庭生活のなかで、人が生きる基本となる力を養います。自分自身の生活に何を求め、どのようなことに幸せを見いだして生きるのか、自分や家庭、地域の生活を主体的に創造し、実践しようとする態度が育つことを目指します。		

学期	月	学習内容 学習のねらい	観点別評価規準
1 学期	4	家庭科を学ぶにあたって ・学習の意義や内容、学習の方法、評価の方法を知る。	【主体的に取り組む態度】 ワークシート
	5	第1章 これからの人生について考えてみよう 1節 自分の未来予想図を描こう 2節 これからの人生をデザインする 第2章 自分らしい生き方と家族 1節 自立と共生 2節 ライフキャリア 3節 共に生きる家族 4節 家族に関する法律 ・ライフステージごとの特徴・青年期の課題、多様な生き方があることを理解する。 ・自立した生活を営むために必要な情報の収集・整理を行い、自分の将来の家庭生活及び職業生活について考えを深める。 ・男女共同参画社会、労働の意義や役割、家族・家庭、社会との関わりについて理解し、家族や地域の一員としての在り方について考える。	【思考・判断・表現】 ワークシート 【主体的に学習に取り組む態度】 調べ学習(情報収集・整理) 発表・グループ(ペア)活動 授業態度
	6	第3章 子どもとかかわる 1節 子どもとは 2節 子どもの発達 3節 子どもの生活 4節 子どもをはぐくむ 5節 子どものための社会福祉 ・生命の尊さ、子育ての意義、子どもの心身の発達や子どもの生活、子どもの遊びなどについて理解する。 ・子どもをとりまく環境や社会福祉、課題について理解し、解決に向けて考えをまとめる。	【知識・技能】 作品 【思考・判断・表現】 ワークシート 【主体的に学習に取り組む態度】 発表・グループ(ペア)活動 授業・実習態度(保育に関する実習(保育人形・折り紙等))
		第4章 高齢者とかかわる 1節 高齢社会に生きる 2節 高齢者を知る 3節 高齢者の自立を支える 4節 高齢社会を支えるしくみ ・高齢社会の現状や高齢者の心身の特徴、認知症、社会福祉、社会保障制度のしくみについて理解する。 ・高齢者、要介護の高齢者との関わり方や生活支援に関する基礎的な技能を身に付ける。	【思考・判断・表現】 ワークシート 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシート 発表・グループ(ペア)活動 授業・実習態度(高齢者に関する実習(高齢者擬似体験等))
			【知識・技能】 定期考査

